

お子さんが熱をだしたら



【 あわてずに、まず熱を測りましょう 】

子供が熱をだす原因の多くは、かぜや胃腸炎などの感染症によるものがほとんどです。お子さんのひたいに手を当ててみて熱がある場合、あわてずに、まずお子さんの熱を測ることが大切です。

【 いつからどのような症状かメモをとりましょう 】

機嫌・活気・食欲・便の状態はどうでしょうか？

発疹・せき・鼻水・嘔吐・腹痛・痛みなどの症状はありますか？

発熱だけでなく、上記の症状がいつからどのような症状が続いているか、お子さんをよく観察して、メモをとりましょう。メモがあれば医師の診断の助けにもなります。

【 症状をよく観察し、できるだけ早く相談しましょう 】

寒気がない場合には、無理に厚着はさせず、安静に寝かせ、水枕や氷のう(ガーゼやタオルでくるむ)で頭部や首を冷やします。室温は上げすぎないように注意しましょう。

手足が冷たく寒気があるときや、顔色が悪い場合には、からだを毛布などでくるんで温かくします。発汗がひどいときは、かわいたタオルなどでからだをよく拭き、下着やシート、パジャマなどをまめに取り替えてください。

発熱によってけいれんを起こすこともあるので、症状をよく観察し、できるだけ早くお医者さんに相談するようにしましょう。

